



夢の翼



H 2 7 . 3 . 2 4 (火) [第 2 4 号]

☆ 『学年のまとめ』 ～学期末の成績概況より～

平成 26 年度第 1 学年の成果である学年末の成績が出されました。今回の成績上位者（平均 80 点以上）は 8 名（『学業賞』として表彰）でした。1 学期が 4 名，2 学期が 7 名だったので少しずつでも増えているということは良い傾向と言えるでしょう。また，この 8 名の多くが，2 学期よりも得点をアップさせるなど大いに健闘しているので，他の皆さんも見習ってください。皆勤者数は，81 名でした。1 学期が 172 名，2 学期が 127 名だったのでかなり減少しました。『皆勤』の重みについては，これまで様々な場で触れてきました。賞賛に値する素晴らしいことなので，本日の表彰となるわけです。81 名の皆勤者の皆さんには，是非，『三ヶ年皆勤』を目指してもらいたいと思います。また，今年惜しくも逃してしまった人も来年こそは『皆勤』を目指しましょう。



☆ 『62.2』 『99.2』 『18』 ～数字でみる努力の成果～

前号で，「すべて良い結果で 1 年を終わらせましょう」という意味を込めて『終わり良ければすべて良し』（All's Well That Ends Well）という^{ことわざ}諺を紹介しましたが，今回素晴らしい結果を残したクラスに対して，その榮譽を讃えたいと思います。まず，『平均点』が最も高かったクラスは，F 組の 62.2 点でした。ちなみに学年平均は 60.9 でした。次に，『出席率』が最も高かったクラスは，D 組の 99.2 % でした。そして，『皆勤者数』が最も多かったクラスは，A 組と D 組の 18 名でした。みんな“がんばりました”。1 年間共に過ごしたクラスの仲間とはお別れですが，4 月からは新しいクラスで新しい仲間との出会いが待っています。



☆ 進路講演会～先輩の生き方に学ぼう！～

19 日（木）に行われた『進路講演会』では，4 名（東京農大の今井さん，淑徳大学卒業後現在は印旛特別支援学校で教員をしている松本さん，植草学園大学を卒業後現在は保育園で保育士をしている臼井さん，そして，亜細亜大学の本橋さん）の先輩から大変貴重なアドバイスやメッセージを頂きました。



☆ 台湾学⑱ 『台湾の教育Ⅱ』

台湾では，現在 172 大学院校が高等教育を提供している。毎年 14 万人が 1 月末から 2 月初に実施される全国統一の大学学測（台湾で実施されている試験制度で，高中生の大学進学に必要な基礎学力を備えているかを試験する大学入試システムの一つ）を経て，11 万人の受験者が 7 月 1 日から 7 月 3 日に実施される大学指考（入試）を目指している。これとは別に 93 校の技術系大学には，18 万名の受験者が 4 月中旬に参加する全国統一の四技二專統測という入試があるそうです。



『天は自ら助くる者を助く』（Heaven helps those who help themselves.）